



新鮮な魚介類に舌つつみ！

第3回 鷹島「海の市」

第3回鷹島「海の市」が3月20日、新松浦漁協の漁業体験学習施設（鷹島町）で開催されました。

この日は、鮮魚販売や魚の味噌汁無料ふるまい、焼き魚の試食などが行われ、地元はもとより市内外から訪れた来場者は、新鮮な魚介類に舌つつみを打ちました。

また、同会場では県北漁業士会による、まぐろの解体ショーなども行われ、来場者の歓声で大いににぎわいました。この鷹島「海の市」は今後も定期的開催されます。



地域の発展と人材育成へ

長崎県立大学と松浦市との包括連携協定締結

3月24日、長崎県立大学（太田^{ひろみち}博道学長）と松浦市は包括連携に関する協定を締結しました。

この協定は、大学と市が相互の資源を活用し、学術研究機能の向上、地域発展および人材育成などの分野で協力していくものです。

友広市長は、「今回の協定による相乗効果を期待している。若い世代が魅力を感じて松浦に住みたい、住み続けたいと思うようなまちづくりに協力をお願いしたい」と話しました。太田学長は、「地域貢献をすることは県立大学のミッション。地域発展のお手伝いとともに教員の専門性を生かし、学生の教育の一環にもつなげていきたい」と話しました。

長崎県立大学と松浦市との包括連携に関する協定



美しい音楽のプレゼント

志佐中学校吹奏楽部

志佐中学校吹奏楽部の『慰問コンサート』が3月19日、菊地病院（志佐町）で行われました。

今回は、歌のゲストに声楽家を目指して勉強している田中^{ありす}明里子さん（志佐中卒業生）を迎え、「花は咲く」やイタリア語の歌など素晴らしい歌声が披露されました。

吹奏楽部の演奏では、「いま咲き誇る花たちよ」など馴染みのあるメロディーを披露。「演歌メドレー」では観客を巻き込んで一緒に歌い、入所者もたくさんの元気をもらえるコンサートになりました。



無病息災を願うお彼岸行事

おこぼ様

志佐町赤木地区にある落合の洞窟で3月20日、無病息災を願うお彼岸行事「おこぼ様」が行われました。

「おこぼ様」は「弘法様」がなまったものといわれ、同地区の彼岸行事として古くから受け継がれてきました。

高さ約2[㍎]、幅約30[㍎]、奥行き約10[㍎]の洞窟には入口に弘法大師が祭られ、奥に40体以上の地蔵が並んでいます。

この日、ろうそくの明かりに照らされた洞窟に訪れた多くの参拝者たちは、無病息災を祈願しました。



戦没者の霊を慰め

春の戦没者慰霊祭

市内各地区で、春の戦没者慰霊祭が執り行われました。志佐町では、志佐地区戦没者慰霊祭が4月4日、生涯学習センターで行われ、戦没者の遺族など約80人が参列し、黙とうを捧げるなど戦没者160人の冥福を祈りました。志佐地区戦没者慰霊奉賛会むかい かつまさの向井勝正会長は、「私たちの平和と繁栄が尊い命を捧げ、礎となった英霊の皆さまの犠牲の上に築かれていることを決して忘れてはなりません。戦争を二度と繰り返すことなく、恒久平和な社会を築くことを誓います」と慰霊のことばを述べました。



九州ば元気にするバイ！

九州プロレスによる福祉施設慰問

NPO法人「九州プロレス」(福岡市)の理事長兼選手である筑前ちくぜんりょう太さんが4月13日、障害福祉サービス事業所の社会福祉法人友星会ワークプラザ松浦(大久保ひろ子施設長)を慰問し、施設の利用者や職員など約60人と触れ合いました。

九州プロレスでは、「九州を元気にするバイ」を合言葉に、年間約150カ所の九州各地の福祉施設や児童養護施設などを訪れ、無料で慰問活動を行っています。

筑前さんは、スクワットや腕立て伏せなどのトレーニングを披露し、利用者たちと握手やハグを交わしたり、筋肉に触れさせるなどして、大いに会場を盛り上げました。



花見とグルメを楽しんで！

島フェス福島桜春まつり in 松浦グルメグランプリ

島フェス福島桜春まつり in 松浦グルメグランプリ (NEW WAVE 主催) が3月26日・27日の両日、大山公園で開催されました。

26日に開催されたグルメグランプリには11店舗が出店。来場者たちは松浦特産品を使ったグルメを味わい、気に入った店舗に投票しました。

ステージイベントでは、太鼓やダンスなどが披露され、訪れた人は春のひとときを楽しく過ごしました。



長崎県ビジネスプランコンテスト

松尾秀平さん

長崎県ビジネスプランコンテストの表彰式が3月28日、長崎県庁で行われ、本市から松尾秀平さん(志佐・立町)が県民信用組合賞を受賞しました。

同コンテストは、県内に拠点を置く個人や法人を対象として県内の創業促進を目的に開催され、新規性や実現可能性などを審査するものです。松尾さんは、「長崎初！種苗店の『新野菜直売所&カフェ』を開設！」で応募し、今回の受賞となりました。

松尾さんは、「今回の受賞で、ほかの受賞者と交流が深まり良い刺激になった。今後は、店を魅力ある場所にして地元の人がちょっと休憩できたり、市外の人遊びに来たいと思えるような、人が集まる場所にしていきたい」と話しました。

